

「謹賀新年」

柏崎市長	吉浦栄一	柏崎市助役	小林治助	柏崎市議會議長	佐藤平一郎	柏崎体育団長	近藤緑郎	同副団長	月橋 奎	同副団長	今井哲夫
------	------	-------	------	---------	-------	--------	------	------	------	------	------

柏崎こだま会 会長 柳 喜八郎

酒井 栄と阿部芳郎

関 無 門

伝統ある柏崎刈羽の学校
体育の次代を背負う指導者
は「月門の虎」と呼ばれ、
酒井 栄（現古志郡刈羽
小学校校長）、阿部芳郎（現
刈羽郡高柳中学校校長）の
二名が、この地を代表する
指導者として、その職責を
果たしている。勿論、この
二名は本人達も意識しては
いないかも知れないが、好
むと好まざるは別問題であ
る。

酒井、阿部を武蔵、小次
郎とするのは、その風采や
出生進退によるものではな
い。ひびく眼光鋭い頑健な
酒井の武蔵はともかくとし
て、半白猫背の阿部の小次
郎は、いささか興ざめるも
のがある。しかもこの二名
はとも大正六年春生れの
四三才、柏崎中学校、高柳
師範を通じて同級生であり
相好した親友である。しか
も尚且つ「武蔵と小次郎」
とするのは何か。

昭和十一年高田師範を卒
えた酒井は、安田、田尻、
北崎石等常に柏崎周辺の学
校に奉職し「銀鯨クラブ」
若手のホープとして、月橋
三宮、笹川等の大先輩の薫
陶を受け、着々とその実力
を涵養し、確固たる実績を
積み重ねていったのである。
しかしやがて暗い戦と共に
「銀鯨クラブ」の良心的活
動は激しい戦時統制教育に
封ぜられ、月橋は教職を去
つて行った。（そして実質
的には銀鯨クラブはこの時
消滅してしまつたのである
が）やがて終戦、学制改革
となり、三十才の校長が出
現する混乱時代がやつて来
た。この時來社と登壇した
のが阿部である。彼は卒業
以来南浦、古志の田舎を転
転して来たのであるが、昭
和二十年四月荒浜へ帰つて
來たのである。こゝ荒浜は
当時戦時教育のメッカであ
つた。あの砂山は滑空訓練
所であり、海は海洋訓練の
道場であり、砂浜は塩田と
なり、連日上中越の選抜さ
れた高等科生徒の合宿訓練

員を有する大組織となり、
新学制の所謂「保体カリキ
エラム」を真向から批判し
たのである。やがて新学制
のもと国民学校が小学校、
中学校に分れるや、彼は北
崎石中学校に移つた。（こ
の年酒井は北崎石小学校に
去つた）北崎石は、月橋の
旧副校長の郷里であり、今
井体育団事務局長の郷里で
ある。そしてグライダーが
飛び、短艇が走り、塩くみ部
隊が焼くつゝ浜に長蛇の列
を作り、松輪を集める生徒
が松林の間を走り廻つてい
たのである。こゝへ迎えら
れた阿部の仕事の大半はそ
れ等の訓練であつた。その
活動は僅か四月で終戦とな
つたのであるが、この事
は阿部と柏崎体育の中核体
坂田、月橋と結びつけ、そ
のなまは全市に知られるこ
となつたのである。そして
戦後の「柏崎体育団」再
建運動にも参加する一方、
米峰体育人会を組織し、一
躍脚光を浴びたのである。
都の巷に躍り出た小次郎の
将に「物干竿」を肩に突如
都の巷に躍り出た小次郎の
将に「物干竿」を肩に突如
都の巷に躍り出た小次郎の
将に「物干竿」を肩に突如

関若菜さん(2)

田 柳 子
(市教育委員)

あなた年寄りになつ
て腰が曲つても、私はあ
なたを、こう呼ぶでしよ
う。

均整のとれた肢体に溢
れるばかりの力、しやべ
つてゐるのが、どかし
い。実力行使型、多くの男
性を尻目に自動車運転手の
認可を一度でパスしたの
も当然の事であり、傍に
坐れば、はなええとされ
うな力を感じるのには私だ
けだろうか。

お医者さんだ、奥さん
だ、と言ふ彼女の本職は
私にはたゞ表面的な肩書
としか感じられず、白衣
を抜いで、とび出して來
る彼女こそ、それが本当
の姿ではないだろうか。

「ホラー」「ヨイショ」
と、とバスケットボー
ルのコートで満場を制し
て飛び廻る時、私達も一
つ「ホラー」「ヨイショ」
と、とバスケットボー
ルのコートで満場を制し
て飛び廻る時、私達も一

踊座 白浜音頭

この踊りは一般にある様な盆踊り形式
の円陣を作つて右廻り（時計回転の逆）
に踊り進みます。踊れるように振付け
てありますから、メロディーをよく聞き
ながら、踊れるように進みます。



一、ソレト...

① 右足を一歩前に出し、その足に体重を掛け手は胸の前から前方に伸ばす。頭は左肩後方より下の方に付ける。

二、ソレト...

② その手を軽くにぎり引くようにしながら胸の前で止める。体重は後足（左足）に掛ける。顔は右斜上を見る。

三、ソレト...

③ 手を軽くにぎつたまま①と同じ。

四、ソレト...

④ ②と同じ動作だが、手を引くときに前足（右足）の後足に掛ける。

五、ソレト...

⑤ 右足を一歩前に出しながらかつて肩の高さに前足（右足）を伸ばす。

六、ソレト...

⑥ 右足を一度後に折り上げ手は胸の前まで引きよせ後に折り上げている右足を右斜前に出し、手も平行して右側に伸ばす。

七、ソレト...

⑦ 前に出している右足に体重を掛け、左足を一歩前に出しながらかつて手も前方に伸ばす。

八、ソレト...

⑧ 左足を一度後に折り上げ手は胸の前まで引きよせ後に折り上げている左足を左斜前に出し、手も平行して左側に伸ばす。

九、ソレト...

⑨ ④の斜前に出した左足に体重を掛け右足を一歩前に出す。両手を上方から両脇斜下に下げる。

十、ソレト...

⑩ ⑨の左足を右足に揃えながらかつて胸の前で一つ手を拍つ。

十一、ソレト...

⑪ スタンプした左足を一歩前に出し、左手をかざし右手を左手二の腕のところに軽くのせながら右足を左足のところにスタンプする。

十二、ソレト...

⑫ スタンプしている右足をもう一度前に出しながらかつて同じ動作をする。

十三、ソレト...

⑬ スタンプしている左足に体重を掛け、左手をかざし右手は右脇四十五度の位置にとめる。右足を少し後に引く（約半歩くらい）。

十四、ソレト...

⑭ 後の右足に体重を掛け、左足を約半歩程後に引きながらかつて左手は左脇四十五度の位置にとめる。

十五、ソレト...

⑮ ⑭の右足を一歩前に出し、更に右足を一歩前に出し左手は前方肩の高さ、右手は左手二の腕に軽くのせる。

十六、ソレト...

⑯ ⑮の足はそのままに左手にのせている右手を肩の高さまで上げてきながら右足を左足に引きよせる。

十七、ソレト...

⑰ ⑯の左足を一歩前に出しながらかつて右手二の腕の反対動作。

十八、ソレト...

⑱ ⑰の足はそのままに右手にのせている左手を左膝の上にのせる。

十九、ソレト...

⑲ のせている左手を肩の高さまで上げてきながら左足を右足に引きよせる。

二十、ソレト...

⑳ ⑲の足は左足に体重を掛けながらかつて右手を左手の上に交差する。

二十一、ソレト...

㉑ ⑳の右足を後に踏みかえながらかつて両手を肩の高さに開く。

二十二、ソレト...

㉒ ㉑の右足を軸に左足を掛けるようにして廻り、正面に向き足を揃えながらかつて二拍、一拍休んで（二拍）。

そして最初に戻ります。



十一、ソレト...

⑪ スタンプした左足を一歩前に出し、左手をかざし右手を左手二の腕のところに軽くのせながら右足を左足のところにスタンプする。

十二、ソレト...

⑫ スタンプしている右足をもう一度前に出しながらかつて同じ動作をする。

十三、ソレト...

⑬ スタンプしている左足に体重を掛け、左手をかざし右手は右脇四十五度の位置にとめる。右足を少し後に引く（約半歩くらい）。

十四、ソレト...

⑭ 後の右足に体重を掛け、左足を約半歩程後に引きながらかつて左手は左脇四十五度の位置にとめる。

十五、ソレト...

⑮ ⑭の右足を一歩前に出し、更に右足を一歩前に出し左手は前方肩の高さ、右手は左手二の腕に軽くのせる。

十六、ソレト...

⑯ ⑮の足はそのままに左手にのせている右手を肩の高さまで上げてきながら右足を左足に引きよせる。

十七、ソレト...

⑰ ⑯の左足を一歩前に出しながらかつて右手二の腕の反対動作。

十八、ソレト...

⑱ ⑰の足はそのままに右手にのせている左手を左膝の上にのせる。

十九、ソレト...

⑲ のせている左手を肩の高さまで上げてきながら左足を右足に引きよせる。

二十、ソレト...

⑳ ⑲の足は左足に体重を掛けながらかつて右手を左手の上に交差する。

二十一、ソレト...

㉑ ㉑の右足を後に踏みかえながらかつて両手を肩の高さに開く。

二十二、ソレト...

㉒ ㉑の右足を軸に左足を掛けるようにして廻り、正面に向き足を揃えながらかつて二拍、一拍休んで（二拍）。

そして最初に戻ります。

(中学校の部)

(男子) 上越地区中学校 (昭34度)

競技種目	記 録	氏 名	所 属
100米 自由形	1.17.6	小島 関	中 頸 柿 崎
400 " "	6.18.5	岡 岡	第 一
800 " "	12.54.5	平 田	〃
100米 背 泳	1.21.9	島 岡	〃
200米 平 泳	3.18.5	滝 沢	中 頸 柿 崎
200米 バタフライ	3.37.8	田 中 宏	柏 崎 第 一
400米 メドレー	5.47.0	柏 崎 第 一 中	"
800米 リレー	11.56.0	"	"

自由亞

(男子) 県中学校 (県大会記録)

(女子)

日本中学水泳通信競技大会 (大会記録)

(男子)

(女子)

ものである。

やっと入ってきた新入部員はその殆んどが、どうやら泳げる、という程度で直ぐに競泳練習に入るなどとてもいい出来ない。

最近まで刈羽、柏崎一田にプールを持っていた学校は、小中、高を通じて一つもなかった。数年前に一中に出来、やっと昨年田尻屋敷中、南鱈石中に出来た様な状況で、一中を除いては、水泳部らしい練習をしているところは無い。

しかし、最近各中学校にプール建設の機運が盛り上がりつつあることは誠に喜ばしいことである。プールの建設は、火災、危険防止の上からは、又体育全般の面からも緊急を要する事ではなからうか。

R生

氣のあるチ
貴い。たい。
上越では
二位である
も直江津に
わくば、巨
柏高、柏商
で進出し

の不利もあつて短大附高と共にゲームの回数が不足の感がある。機会を見て市内同志の研さんに努力されたい。常盤も好敵手北城の不出場で榮勝したもの、昨年はインタールハイで北城に、国体予で新津に苦杯を呑んで居るので、本年こそ阿種目共優勝を望み度いが少しレベルが落ちて居るので、余程の精進に依らねば、どちらか落しそうである。

以上各種目共一応募では準決勝までは行けそうであるが、その上に確実な実力を持つたなければ、一つも優勝を持ち帰る事は出来ないであろう。中学女子も県大会に出場出来ない程レベルが落ちているのではなからうが、一つ頑張ってください。度い中学男は普及の時期かも知れないが大会を持たなければ、他地区に乘ぜられ将来大きな差が付く基と

なろう。中学三年間の経験が高校に入ってどれ程の差が付くか、基礎技術では大して変わらないが、ゲーム経験に於いて格段の差が付く様である。中学男子の向上を祈って止まない。

水泳雑感

ロケットの研究で有名な東大の糸川教授が、ロケットの講義を開始するにあたり

して、聴講希望者を募つたところ、何と、たつた一名しか居なかつたと言ふ。ロケツトと云へば、現在世界の人の関心の的であり、注目を集めてゐる筈のものである。私は奇異の感にうたれたが、なる程と思つた。つまり余りにも先走りすぎ、現実の社会とはかけはなれていて、就職とは直接何の関係もない訳である。

四月、高校へ入学した生

徒に各クラブの入部希望をメ切つて見ると、オリンピックで、国民が最も期待をかけている種目の一つである水泳部への希望者は毎年一、二名しかない。猛烈な勧誘を試みてもやつと五、六名の部員を獲得し、辛うじてその命脈を保っている。

いろいろの原因があると思うが、彼等は就職、進学という事が常に頭こびりについているので、全く

(男子) 県中学校(県大会記録)

(女子)

男子) 日本中学校放送陸上競技大会 (大会記録)

(女子)

高等学校競泳記録比較表

競泳日本記録表

(男子) (34年1月1日現在)			日本記録	
タイム	氏 名	所 属	場 所	年 月 日
56.4	谷 詔	日 本	天 理	1955.8.2
2.01.5	山中 毅	〃	大 阪	1959.7.26
4.16.6	〃	〃	大 阪	1959.7.26
17.47.5	〃	〃	神 宮	1959.7.20
1.12.6	増田 勲	〃	大 阪	1959.7.26
2.39.3	〃	〃	神 宮	1959.7.21
1.00.1	石本 隆	〃	ロサンゼルス	1958.6.29
2.17.8	那須純哉	〃	大 阪	1959.7.26
1.04.0	長谷景治	〃	ホノルル	1958.5.12
2.22.2	富田一雄	〃	都 屋 内	1958.5.30
8.18.7	山中、福井 見上、藤本	〃	大 阪	1959.7.26
4.14.0	長谷、木村 開田、石原	〃	神 宮	1959.7.20

ピンチには眼をつぶれの巻
今朝雄

その日の中に作戦會議は持たれた。而してその結論は「投手力の確立」と言う事に一致したのであるが、「然らばその具体的の方途如何」と言う事になると意見は真二つに對立した。本格的に仕立てよ、「本質的に球威に勝る黒崎の再教育

「たが、ボールは二、三の補員が追う。その時既に次のボールが黒崎のグロブスに入れられる。投げる、又低く右にはずれる。この馬鹿らしい労力空費が一時間近く続く。そして二日三日と続く一体どうなるのだ。監督にもコーチにも、いや黒崎自身にも成算はないのだから、それが溺れる者のつかむ藁であつて見れば、必死で繰り返す以外に手はない。四日、五日、遂に一週間目には三球に一球は、捕手のミットに目れる機には十球のうち七、八球は、外角低目に構えられた小林の寸

黒崎によつて、そして翌日からハボデー・スウィングからの投球に変わる。そして二週間目、はじめて黒崎は青空を見上げながら投げた事が許された。そして僚友に囲まれてつつかしの練習場——あの少年グラウンドのマウンドに立つて三回レギュラー・バツティングを投げた。「眼をつぶつて投げろ」遂に間に合つたのだ。人の一念の恐ろしさよ、何んのケレン味もなく全力をふりしはつて投げ下す豪速球のさへ、そして爽壮たるその雄姿よ、將に戦わん哉時至るである。

學校舞踊に就いて記せ。と
の編輯者の執拗な要求に
對して、初恋の人に見え
るような淡い感傷、抑え難
い思索の念、無関心では
ない心の苛立、そんな
ところこんた心情に駆ら
れている私である。しかも
人を傷つけはすまいか、と
の側面については筆を執
るのに躊躇せざるを得な
いのである。

學校舞踊という文学に
触れた私の頭は混乱を來
したのである。何故なら
私が學校舞踊（以下舞踊
と稱する。）に對して強い
関心を持つていた七、八
年先、現在までも咄れや
らない暗喩が舞踊界にた
れ、私からも離れようと

はしていないからだ。その最たるものは、舞踊教育理念の不明確さである。いや、すべてがごくら出で発する。と言つたら、過言でないの誇りを受けねばならぬだろうか。

そもそも、が、中央の最高指導者間にあつてすら、舞踊の本質を『芸術性』にありとし、或は『身体性』にありとし、又は其の『併立』にありとして、互いに自己を主張して相いれる事がない過去と現実とを持つてゐる舞踊界なのである。即ち、

本質を『芸術性』にありとする人々は、『舞踊は踊り』と教育であつてはならない。故ならば、教育という概

舞踊の両者の共通の基礎であり、舞踊の本質的効果を追求するに必要でない要素を飛ばして舞踊界をリードしようとしている。

『身体性』を主張する一派は、『体育科のダンス（舞踊という言葉を極端に忌む嫌つ）なるが故に、身体を鍛える事が主で、意味合いは持た得ない。』と反論する。芸術的な人は、ダンスは芸術ではない。ダンスは個人的、創造的なものと考へてはならない。

と目角を立てつづゝ立っている。

流派？が存在する。この様な主流は幾つかの
 流を分岐し、支流は更に
 細流を、細流は更に末流を
 生じ、遂は混頓。末流に倣
 す教師達は、自己の根ざ
 す主流から弁じ得なくなつ
 ているのが現状ではないだ
 うか。
 本質についての斯の様な
 思見の混乱は、共通の教育
 念の樹立を阻みこそすれ
 等建設的な建音とはなら
 ない舞踊界なのである。
 曾つて文部省は『芸術と
 体の二面の追求』を示し
 この混乱を収めようとし
 みたが、焔根は余りにも
 強く、益々その度を深め
 こそすれ、焔根は断たれは
 なかったのであった。

た。事」と明示するに到つた。こゝに於いて混乱は秩序を得るか、とも思われたが、かしの解決されしは誰にか。何故ならば、群雄は鞭を止めず、又、實際活すして、現場教師であつて、中央界はさて置くとして、場を受け持つ教師達の中には既に何れかの派の洗ひを受けて、改宗には殉的な決断力が必要なのだ。又、彼等の中には、時代の判断をもつて、舞踊は舞踊、ダンスはダンス、一休何の事だと思ふのが現舞踊なのだし――直に割り切り、又は、埋教

試みは、家講餓ブ十り「」「」等のすの要は、

人々に、ダンス講習会に群る人々の群を見よ。彼等世にいう児童舞蹈研究になる、教育原理すら弁えないであらうところの即ちから、何をどうと齟齬するで好まぬやうか。

「舞踊とは何か。一からプログラムを見よ。一から作品名の列記であらう。『舞踊』とは何か。」

「何かが舞踊美たり得るか」如何に表現す可きか。」

「事を得ない筈である。とるならば、参集する人々目的は一つの指標、指導を離れて思ふべきにあらずるか。一体は疑念を募る一方なのである。」

「眼を見よ、彼等は、既に眼を追求を終り、その理

昭和十九年当初に植
市に健民本部がつくら
れた。その設立趣旨を見
ると

「一、（前略）：然ル所
等健民強兵ニ関スル國
施策ノ運営ニ当ル諸般
組織併ビニ機構ニ多岐
ワタリ為ニ相互間ニ二
性ヲ欠キ連絡結合充分
ラザルヲ以テ結果ニ於
徒ラニ斷層多ク重複ヌ
果シニ元の統體性ヲ失
来ヲ見ルコト困難トナ
ス」（中略）：コレ等々

略)……その構成を見ると、
 (イ)健民本部へ市長統裁
 下ニ健民運動ヲ為ス
 健民運動団体」トス
 ○健民本部ノ委員ハ健
 運動ニ直接関係アルル
 下ノ団体及ビ機關ノ公
 表者ヲ以テ之ニ充ツ
 モノトス
 ○委員ハ所屬団体及機關
 ノ単ナル代表者ニ非
 テ健民強兵ノ実ヲ以
 テ皇國ニ報タル一切
 運動ノ中軸タルノ信

本部委員又ハ適當ナル人材ヲ以テ之ニ充ツルモノトス

「○専門部員ハ思想信念堅實ニシテ識見ト指導力アル人物タルト共ニ斯道ノ研究ニ熱意アル者ヲ選ビ本部員主辛ノ推薦シタル者ヨリ市長之ヲ委嘱ス

以上で大体其の性格、組織構成がわかるのであるが、注目すべきは、各町内会健康民部が構成分子となつてゐる事である。そ

この時代は、戦局はガダルカナル戦線をはじめとして、漸く敗色明かとなり、容易ならざる前途を憂えた時である。国の体育行政は文部省と厚生省に分れ、今流の言い方をするならば社会体育を厚生省が担当していたのである。国民体力法という体力管理法があり、国民修練という手ぎびしい制度もあった。文部省と厚生省のやり方にも色々問題があり、その所、軍

機を打つという事よ
あり、生活の基本、国民の
あり方から築き上げねば
ならないという考方が、
あらゆる関係団体の協力
を得て健民本部をつくっ
た事となつたのである。
しかればこそ、人口問
題、結婚問題という様な
普通の形に於ては体育健
民の範圍に入らないもの
から、体育技術の強度の
もので其の研究対象と
その仕事としたので
ある。其の基本を買いて

て文部省、厚生省と体
行政が分れてゐた事は
この悲哀ではあつた
、厚生省が活潑にやつ
ため、文部省が引ずら
たという形のものがな
もなかつた当時の有様
思う時、文部省一本に
られてゐる現在、必
しも幸であるとは断定
来ない様である。文
、厚生、軍と三本ルー
がからみ合い、ともす
ば軍の要求に無条件に
を

様な
いで
会心
ある
では
まで
的、
育の
であ
ら女
ボー
の無

ある。ところが、体育に社
会的な意義を認め、これを
肯定することを否定するもの
はないが、体育はあく
もその根本は肉體
身体的なものである
これが失われると体
本質が失くなるもの
であることが忘れられた
変である。今あるス
ツ隆盛、体育に於ける
無政府主義はこの危険
を冒していると思うのは
果を要
証出並
の基本
乗りこ
である
脱線
が結
組織
と意識
の幸福
の人々
於ては

幸げ得ると、誰が保
本るのか。健民本部
本精神はこの障害を
こえようとする努力
る。体育が自堕落、
の道を歩んでいると
社会福祉や保健衛生
んで「保健福祉地区
一を一步先に作ろう
せしてやる。真の社
社、真の健康は、そ
生者の幸福という点に
全く一つのものであ
しかもその中に於て

かすがず学動参観に
どてまるたて実

現の爲に社会一般に對し主導的立場を確保してい
る、他の分野の体育教師
た然りである。引き換え
、舞踊界の地位は果して
うであらうか。

一體、学校ダンスは学校
しか通用しないものとの
念を、ワレト共に抱か
れてゐるが、学校教員活
の如何なる分野に於いて
社会だけにしか通用せ
、そこで終り、他に發展
する事出来ない教育活動
存在しているのであらう。

禍根は何処にあるのだ

設ヲ統合結果シテ更ニナル一環性ヲ附与シシテ一元の大方針ヲ確立スニヨリ運営ヲ計ル必要アリト確信ス

カクシテ在來發揮サレタル各機關及ビ団体ノ偉ナル努力ト功績ヲスル國ノ下ニ統體化スルニラバ更ニ大ナル成果ヘアシテ俟ツベキモノアリ

我等ヘカナル構想ノ下今回先シテ當市ニ健本部ヲ設置セシムルノナリシセムコソ健本部ハ在來ノ屋上更ニヲ重ネルガ如キ徒ラニ系ノ統一融合ヲ試ミシスルガ如キ皮相のナルノニ非ズシテ其ノ目指所ハ全柏崎市民打ツテ丸トシテ鍊成シ……

大 多 是 意 至 期 二 十 二 日 民 屋 體 ト モ 後

○委員ノ委嘱ハ市長之ヲ行フ
健民本部ニ本部員ヲ要ク

○本部員ハ健民本部委員中ヨリ市長之ヲ委嘱
部員ヲ分ケテ主宰一々研究部員技術部員庶務部員各若干名トシ任期一カ年トス（但シ委員長ヲ妨グズ）

○市長ハ本部員主宰ノ西門部會ニ基キ必要ニ応ジ東門部會ヲ設クルモノナラス

○専門部會ニハ部長一タ副部長一名専門部員若千名ヲ置ク

○専門部員ノ構成ハ健民

の事業を見ると、企劃研究、生活研究修練研究、保健研究の四部に分け、広汎な健民政策と取組んだのである。

体操と武道を対立させたり、戦技訓練などに拘束されていく様な所はないさかでもない。その反面、栄養問題、最低生活問題、結核対策、母性保護乳幼児保護問題、疲労と休養問題等が採り上げられている。其の経理を見るに組織団体の負担金（行政機関及系統振興会、体育団、武道振興会、工場事業場は年額五十円、学校関係、町内会関係は五円其の他は三十円）市補助金、寄附金をその財源としている。

な推進力のあるものが、体育に対して要請所が指導までやって出て来たわけである。中央に於てかくの如くであるから末端の混乱は申すまでもない有様であつた。どうしても是は正しい体育という姿、本来の健民運動にする必要がある。このまゝでいくと狂気の沙汰の様な体育と称するものが市を利かせ日本人の身体はどこかへいってしまうと考えられたのである。竹槍で突く、鉄砲で飛行

民権主義は、管子の「民を以て本」として、民を政治の中心とする。これは、管子の政治思想の根本である。管子は、民を以て本とし、民を安んずることを第一とする。民を安んずれば、國は富み、國が富めば、民は安んずる。これは、管子の政治思想の根本である。管子は、民を以て本とし、民を安んずることを第一とする。民を安んずれば、國は富み、國が富めば、民は安んずる。これは、管子の政治思想の根本である。

現今の体育はその心理
 効果のみを強調し、そ
 して又アメリカの体育の
 を渴仰して、体育を全
 放任の状況に置く事が
 ながら、体育の本質
 、本来的姿であるかの

一年後は敗戦によ
 り、汚濁の水の中に流れ
 出したのであ
 る。

健康
 本
 部
 により市民の健康
 体育健民のため、健
 理をしようとした事
 、或いははかない「レ
 ス
 ス
 タ
 ン
 ス」であったか
 知れない。たとえそれ
 はかなくかばそのもの
 あつたとしても、この
 崎では生れ出たのであ
 る。

健康
 本
 部
 により市民の健康
 体育健民のため、健
 理をしようとした事
 、或いははかない「レ
 ス
 ス
 タ
 ン
 ス」であったか
 知れない。たとえそれ
 はかなくかばそのもの
 あつたとしても、この
 崎では生れ出たのであ
 る。

取組む方針に於いては、健康本部の考方は、のまゝ蘇生させる事の問題があるとして、市、一町の市民の本と体力のため、どのような方針と施策で立向うか、誰がそれを研究考へるといふのであか。数人しかなく、多くの場合、体育健は余り知識も素養も教育委員にこれを求めるというのか。校長の度に、体育に對する針まで動揺する学校を期待しようというの心底から疑念を得て固定してゐるのに、に対する方針は動揺するという危険は、その成

體育
健康
幸福
を予
する。用
な関與
覺した
共に、
本義
綜合的
つたた
う。健
践は決
現象を
の話し
精神と
ではな

であらねばならな
しければこそ、「保
位地区組織」を一
「新健民運動」の
冠して、力強く押
し進めようとする
のである。体育は
重大な問題に來て
いるのを自覚する
必要はないと
今にして尚健民の
に倣し、健民政策
の統一を實踐しな
らば、体育はシヨ
クとなり果てるであ
る。健民本部の構
想と特殊戦時中の
特殊ともなく、遠
い世界ともない。こ
の基本こそ再検討
さるべきなからう
か。(T)

舞踊界の實情に押されて明治大正時代に逆もどりの指導要領。」と専門家がして嘆ぜしめるような改訂が昨年度行われた。日進歩の教育界にあつて、進歩するものゝ一つに舞踊がえられてゐる。という事に対して、舞踊界は一体を考へてゐるのであらう。行きすぎは正と、安堵將亦無関心か。

若し何等の痛痒も感じてゐないとするならば、他の野の心ある教師達が言う理念の貧困と、方法的批評、乃至は意欲欠如」と此評を無意識のうちに肯定している事になるのではないだろうか。と私の老婆心いらざる事までも案じてくるのである。

(常盤高)

さかたいくを
暗雲影宿す学校舞蹈界に思う

校舞踊の執到に記せ。編輯者の執拗な要求に、初恋の女に覺えるな淡い感傷、抑え難い心の苛立、そんなこんな心情に駆られて私である。しかも人を情けすまえて筆を執る躊躇せざるを得ない私である。

校舞踊という文学に觸つて私の頭は迷途を來てゐる。何故ならば学校舞踊（以下舞踊と即ち）に対して強い関心を持つていた七、八年先、現在までも晴れや、暗雲が舞踊界にたれや、私からも離れようと

はしそそ教育いや発すのだのたのたのそそ指導踊のりとにあ

立」自己につて即ちと本

子教何故

ていないからだ。舞踊の最たるものは、舞踊の理念の不明確さである。すべてがごまから出ると言ったら、過言誇りを受けねばならなうか。

もくが、中央の最高者間にあつてすら、舞本質を『芸術性』にし、或は『身体性』りとし、又は其の『併にありとして、互いにを主張して相いれる事ない過去と現実とを有する舞踊界なのである

質を『芸術性』にあり人々には、『舞踊は踊育であつてはならないらば、教育という概

決し、目と意と一々

派は『(舞) 忍み』を飛

何故、舞踊を視すればあるを飛

[illegible]

の様な主流は幾つかの
を分岐し、支流は更に
細流は更に末流を
運は混頓。末流に掉
教師達は、自己の根ざ
ら弁じ得なくなつた
のが現状ではないだ
る。

員についての斯の様な
の混亂は、共通的教育
樹立を阻みこそすれ
建設的な聲音とはなら
舞踊界なのである。

て文部省は『芸術と
二面の追求』を示し
て混亂を集取しようと
したが、禍根は余りにも
益々その度を深め
ぬれた断たれは
つたのであつた。

こゝで
を得る
しかし
割拠を
動に係
非ずし
中央
現場
には既
を受け
教的な
前時代
「舞劇
識がら
それが
と安直

に於いて混乱は秩序か、とも思われたが、解決されしなかに何故ならば、群雄は止めず、又、實際活る者は、文部省に在りて、現場教師であつた。

界はさて置くとして受け持つ教師達の中に何れかの派の洗ひについて、改宗には殉じ決断力が必要なのだ。又、彼等の中には、的な判断をもつて、は舞踊 ダンスはどれ何の事だと思へるだろう。しかし現舞踊界なのだ――割り切り、又は、

試みに
かる人
は、世
家なる
でない
講師か
講師か
齷して
ブログ
十まで
り、一
り何が
―如何
等の一
する事
すなな
目的
要領を
る眼を
は募る
念の教
教師の
理念の

ダンス講習会に群々の群を見よ。彼等にはいう兒童舞踊研究、教育原理すら并え、いであらうところのいを得ようとか踊ら、何であらうか。ラムを見よ。一からが作品名の列記である。舞踊とは何か。」

「舞踊美たり得るか」に表現す可きか。」言雙句すらも見受け得ない筈である。とらば、参集する人々は一つの指標、指導離れて一休とこにあるうか。思ふは疑念一方なのである。

見よ、彼等は、既に求を終り、その理

のあるものが、
して要請所が指
戦非常体制という事

のあるものが、
 して要諦所が指
 って出て来たわ
 。中央に於てか
 であるから末端
 申すまでもない
 った。どうして
 しい体育という
 の健民運動にす
 ある。このまゝ
 狂気の沙汰の様
 称するものが市
 日本人の身体は
 いってしまふと
 たのである。竹
 の、鉄砲で飛行

りの軍部迎合でな
 戦非常体制という
 めつゝも其の中に
 健民、正しい体育
 している事でよく
 る。

ひるがえつて考
 と、今の体育の様
 計劃、無統制(？)
 勝手に好きな事を
 いる様なものが果
 当の姿なのである
 この様な体育で体
 遍的としている事
 出来るのであらう

く、決事は認
止してい
る。一年後は敗戦
り、汚濁の水の中
に去ったが、かなり
のいと思つてゐる。

え、無

手前

か。達成

か。

的、本来的姿である

その流れに、このようにして活動できるように心がけよう。学校の教育活動は、その目的を達成するために、どのような方法を用いるか、誰がそれを行うかを考える必要がある。そして、その方法を検討する際には、その目的を達成するために必要な知識やスキルを身につけることが重要である。

また、このようにして活動できるように心がけることは、学校の教育活動にとって非常に重要なことである。なぜなら、このようにして活動できるように心がけると、学校の教育活動がより効果的になるからである。そして、このようにして活動できるように心がけると、学校の教育活動がより安全になるからである。

したがって、このようにして活動できるように心がけることは、学校の教育活動にとって非常に重要なことである。そして、このようにして活動できるように心がけると、学校の教育活動がより効果的になるからである。そして、このようにして活動できるように心がけると、学校の教育活動がより安全になるからである。

究らし健康も求め長す学校の民得す成
う。思へば、体育は重大なる関頭に来てゐるのを覚しなくてはならないといふに、今にして尚健民のの本義に徹し、健民政策の一綜合の統一を實踐しなかつたならば、体育は實際上一となり果ててしまつてう。健民本部の構想と奉踐は決して戦時中の特殊現象でもなく、遠い世界精神の話でもない。この基本精神こそ再検討さるべきではなからうか。(T)

行歩の教育界にあつては、
 数えられてゐる。といふ
 實に對して、舞踊界は、
 何を考へてゐるのでも
 を、行きすぎは正と、
 か、將亦無関心か。
 若し何等の痛痒も感
 いないとするならば、
 分野の心ある教師達に
 一理念の貧困と、方法
 無策、乃至は意欲欠如
 の批評を無意識の中
 出している事になるの
 いだらうか。と私の考
 は、いらざる事でも
 出してくるのである。

(常盤 肇)

逆に
窮乏
は一體
めろ
安堵
怨して
他の
が言
論の
知と
肯定
には
老婆
心
も案
じ

國民の力が、つて文部省、厚生省の悲哀ではあるが、厚生省が活潑にたため、文部省が引れたという形のものくもなかった当時のを思う時、文部省一統られていゝ現在すらも幸であるとは出ない様である部、厚生、軍と三本トがからみ合ひ、とれば軍の要求に無条引ずられそうな時、い体育、健民のため民本部により市民の管理をしよとしたは、或いははかない「ジスタンス」であつ

[illegible]

果を挙げ得ること、誰か保証出来るのか。健民本部の基本精神はこの障害を乗り越えようとする努力である。体育が自堕落、脱線の道を歩んでいるとき、社会福祉や保健衛生が結んで「保健福祉地区組織」を一步先に作るものと意識している。真の社会福祉、真の健康は、その人生の幸福という点に於て全く一つのものである。しかもその中に於て一本心棒となるものは、体育であらねばならぬ。いふればこそ、「保健福祉地区組織」の一部では「新健民運動」の名称を冠して、力強く押し

實現の爲に社會一般
てまで進出し、しか
た主導の立場を確保
した、他の分野の体
また然りである。引
て、舞踊界の地位は
どうであらうか。

一體、學校ダンス
にしか通用しないもの
觀念を、ワレヒ共々
されてゐるが、學校
の如何なる分野に於
學校社會だけに於
ず、そこで終り、他に
する事の出来ない教
が存在しているのだ
か。禍根は何処にあ
ろう。このように低
る舞踊界の實情に押
「明治大正時代に逆
する指導要領。」と
をして啖ぜしめるよ
定が昨年度行われた。

は学校のりとの抱か教育活
に於いて通用せに發展
月活動めらうるのだ
迷すれどもどり
門家な改日進